

小田原創友クラブ

第77号

【発行】小田原市老人クラブ連合会

〒250-0055 小田原市久野115-2 ☎(0465)32-5800 編集 創友クラブ教養部

【印刷・編集協力】株博報社関東本社 神奈川県厚木市愛甲1-8-39 ☎(046)280-6001(代)



生涯を通して健康づくりを

小田原市老人クラブ連合会
(小田原創友クラブ) 会長 大友 昭夫

日頃より、皆様方には小田原創友クラブの事業推進や活動につきまして、種々ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の世界的規模での拡大という事態に見舞われ、当創友クラブも緊急事態宣言により、外出自粛要請や公共施設の使用禁止にともない大きな事業活動は安全を期するため開催を見送りました。

令和3年度に入り、高齢者への新型コロナウイルスの接種が開始され、最近では幅広い世代の接種率がアップし感染流行の収束が期待されています。

このような状況のなかで、私達高齢者が生涯を通して健康を保ち、生きがいを持ちつつけるには、まず、一人ひとりの免疫力を高め、日常生活の機能を維持し、生活習慣を見直す健康づくりが必要であり、なお一層健康管理に努力しなければならぬと思います。

今後、前年と同様今年夏以降の社会情勢にもよりますが、創友クラブの行事予定を一部変更することもあると思いますので、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

私たちは小田原市老人クラブ連合会の活動を応援しています

令和3年度小田原市老人クラブ連合会総会が5月20日(木)午後1時30分より、おだわら総合医療福祉会館4階ホールにて開催されました。

今年度も新型コロナウイルス感染症が収束未で「まん延防止等重点措置」の対象地域に指定されている中、感染対策を充分に行って、総会をかねての理事会にて、議事案件の審議・承認を行うことと致しました。

志村副会長の司会で始まり、北村副会長による開会のことば、大友会長の挨拶と杉崎顧問の挨拶をいただいて、議案審議に入り、令和2年度事業報告、一般会計収入支出決算報告、福祉友愛募金特別会計収入支出決算報告、基金等積立金報告、監査報告などの報告が各担当者から行われ、質疑応答の後、拍手をもって、全ての議案が承認されました。



令和3年度事業計画

【基本方針】小田原市老人クラブ連合会は、単位クラブとの連絡調整を密にし、会員相互の親睦と会員の健康増進並びに教養をより一層高めるため各種事業を展開する一方、地域の関係諸団体との交流を図りながら地域社会に貢献すると共に高齢者福祉の向上に努める。

主な事業		
1	女性部会研修会 「食で生き生き！栄養教室」	未定
2	小田原市慰霊塔清掃奉仕	5月～3月※令和3年度開始は5月から
3	令和3年度市老連総会	5月20日(木)
4	友愛チームの活動推進及び研修会	6月または9月予定
5	第56回老人大学	全2回：9月・1月
6	『小田原創友クラブだより』の発行	全2回：8月・1月
7	健康づくり(体力測定等)事業の推進	女性8月25日(水)・男性8月26日(木)
8	友愛募金運動の推進	8月～9月
9	友愛活動等支援事業「女性部のつどい」	7月予定
10	社会奉仕の日	9月20日頃

西湘ブロック関連事業		
1	西湘ブロック老連連絡協議会の開催	7月中旬予定 開催：小田原市
2	西湘ブロック老連交流グラウンドゴルフ大会	11月17日(水) ※合同開催
3	高齢者訪問支援推進員養成研修会	未定 開催：湯河原町
4	単位クラブリーダー新任会長等研修会	未定 開催：箱根町
5	ゆめクラブ大学事業	8月19日(木)

主な事業		
11	社会見学と研修旅行	未定
12	単位クラブの強化推進(加入促進運動)	10月～3月
13	生きがいふれあいフェスティバル・シルバー作品展	10月頃
14	老人クラブ開放・地域連携モデル事業	10月頃
15	第47回小田原市シルバースポーツ大会	11月2日(火) ※予備日4日(木)
16	小田原創友クラブグラウンドゴルフ大会	11月17日(水) ※予備日18日(木)
17	市老連大会	未定
18	単位クラブ会長研修会	2月上旬予定
19	小・中学校の児童・生徒との交流及び防犯ボランティアパトロールの推進	
20	その他、小田原市及び地区の行事に参加協力	

- 【その他の活動】
- ① 国旗掲揚の推進 ② 在宅福祉事業への協力 ③ 県老連事業への参加協力
 - ④ 高齢者健康診断及び健康講座への参加 ⑤ 歩け歩け運動への参加協力
 - ⑥ 敬老週間行事への参加協力 ⑦ 環境美化活動の推進
 - ⑧ 交通事故防止の推進 ⑨ 小田原市シルバー人材センターへの加入促進
 - ⑩ 青少年育成会に協力

私たちは小田原市老人クラブ連合会の活動を応援しています

▶ 大友会長あいさつ



(文・教養部)

続きまして、令和3年度事業計画(案)、一般会計収入支出予算(案)、福祉友愛募金特別会計収入支出予算(案)について各担当者から説明があり、質疑応答の後、これらの議案も拍手にて承認されました。最後に片山副会長の閉会のことばで、総会をかねての理事会を終了いたしました。

各理事さん議事進行にご協力いただきありがとうございました。

令和3年度慰霊塔清掃奉仕日程表

月	日	曜日	地 区 名
5	10	月	十 字：二 川：下曾我
6	10	木	酒 匂：久 野
7	9	金	富 水：東富水：曾 我
8	10	火	豊 川：上府中：山王網一色
9	10	金	万 年：片 浦：芦 子
10	8	金	桜 井：足 柄： 幸
11	10	水	大 窪：国府津
12	10	金	早 川：下府中： 緑 ：富士見
3	10	木	下 中：新 玉：前 羽

☆昨年度は、新型コロナウイルス感染症拡大による緊急事態宣言により、6月から令和3年4月までの持ち回りとなったため、本年度は5月開始となります。

○当日、雨天等の場合は中止です。

○集合時間：8時30分
作業開始：9時～
※集合時間・作業時間はあくまでも目安となっておりますので、担当地区にて臨機応変に対処していただきますようお願いいたします。

私たちは小田原市老人クラブ連合会の活動を応援しています

令和2年度 2年越しの友愛リーダー研修会開催

3月22日(月)、おだわら総合医療福祉会館4階ホールに於いて、各地区73チームのリーダーと市老連理事・役員84名が参加して、令和元年に続き研修会を開催しました。司会は厚生部北村部長が担当し、最初に主催者を代表して大友会長より「令和2年、3年にかけてコロナウイルス感染症により、各地区に於いて事業活動はできない状況であり、ご苦勞されていると思います」等のご挨拶がありました。

今回のリーダー研修会は、なんと言ってもコロナウイルスに対する講話でした。

一、講話

新型コロナウイルス感染症と 予防について

講師 小田原市健康づくり課
保健師 増田真美子氏 他3名

◎感染リスクが高まる状況

(次の五つの場面が考えられます)

- ・飲食を伴う懇親会等
- (大声になりやすい)
- ・大人数や長時間に及ぶ飲食
- ・マスクをしないでの会話
- ・狭い空間での共同生活
- ・居場所の切り替わり
- (気の緩みや環境の変化)

◎感染しない、広げないためにできること

手洗いのすすめ方(五つのタイミング)

- ・公共の場所から帰った時
- ・咳やくしゃみ、鼻をかんだ時
- ・ご飯を食べた時
- ・病気の人のケアをした時
- ・外にあるものに触った時

◎指先の手洗いの講習を受けました

二、基調講演

「友愛チームの活動について」

講師 神奈川県老人クラブ連合会
ゆめクラブ神奈川

活動推進員 松田 冴子氏

◎生活の中でもコロナウイルス感染症に 負けないための健康づくり(予防の柱)

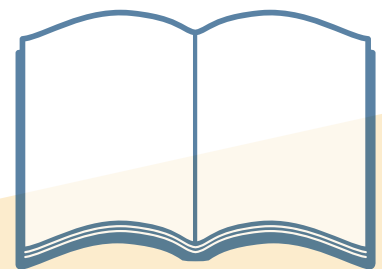
- ・運動(毎日適度な運動をこころがける)
- ・栄養(しっかり噛んでしっかり食べる)
- ・社会参加(地域の人や仲間と、つながりを保つ)

◎会員としても、3密を守って活動すること

※今回は、各地区の事例発表は中止としました。最後に質疑応答を行い予定通りに終了いたしました。

追記…会員の皆様と、笑顔で会える日を楽しみに待っています。

(文・厚生部長 北村 時夫)



私たちは小田原市老人クラブ連合会の活動を応援しています

「女性部のつどい」について

女性部副部長 宮本多喜子

3月25日、友愛活動支援事業としての「女性部のつどい」が開催されました。

新型コロナウイルス禍で1月から予定が延び延びになり、年度末になってようやく開催できました。

講師は県老連の活動推進員、松田牙子様にお越し、「コグニサイズで認知症にそなえる」と題して講演して頂きました。

コグニサイズとは、英語のコグニション(認知)とエクササイズ(運動)を組み合わせた造語で、脳と身体を一緒に使い、考えながら運動することで認知症の予防になるそうです。一つ一つは簡単な動きでも、二つ重なるとうまうまい、まごまごしてしまいます。

講演の後、少しの時間でしたが、各地区ごとに情報交換など話し合いをして、12時には閉会となりました。

今年度はコロナ禍のため、女性部会も栄養教室もできず、女性部会の活動はこれだけでした。



私たちは小田原市老人クラブ連合会の活動を応援しています

単位クラブ活動報告

下中地区

(連合会長 阿部 信二)

総会員数
103

中村原寿会
橋ゆうゆうクラブ
会長 阿部 信二
会長 井田 堯明

会員数

男28・女27
男31・女17
計55名
計48名

橋ゆうゆうクラブの活動報告をいたします。

結成は昭和47年3月11日。橋団地他小竹地区に居住する老人会です。

小田原市の東端に位置し、中郡二宮町・足柄上郡中井町に接し旧足柄下郡橋町の地名から老人クラブ名、橋ゆうゆうクラブを名乗っております。

昭和40年代、湧水を利用した棚田風景が広がっていたのですが、神奈川県住宅供給公社が造成した最後の分譲団地です。

下中地区は20自治会からなっていますが、老人クラブは中村原寿会と橋ゆうゆうクラブの二つの老人クラブで活動してます。

《クラブ活動》

年間行事として昨年度はコロナウィルスの猛威により市老連、小田原市からの活動自粛要請により自治会他各種イベントが中止になりましたが、公園清掃奉仕後の芋煮会、年末餅つき会などを老人会単独恒例の行事として開催し、会員他一般の参加者含め、地域住民相互の親睦をはかりました。その他、自治会で開催中止になった

小正月行事(どんど焼き)は老人会主催で開催いたしました。

令和2年度から包括支援センターの要請で「脳トレ・けん玉の会」(月2回)「ラジオ体操の会」(毎週木曜日)自治会に代わって老人会主催で一般の方も参加し開催してます。

恒例の老人会主催の談話会は、一般自治会員を含め毎月2回、今年度で4年目に入りました。防犯パトロールはコロナ禍でも実施、男女グループで月2回行っております。



小田原市の中でも高齢者の多い当地区です。これからも老人会員と他の一般住民相互のコミュニケーションを大事に活動してまいります。

(文・井田 堯明)

芦子地区

(連合会長 磯崎 透)

総会員数
209

上谷津喜楽会
下谷津喜楽会
中谷津喜楽会
入谷津喜楽会
寺町桐寿会
池寿会
会長 磯崎 透
会長 上原 宏平
会長 丸山 和夫
会長 山本日出夫
会長 中村 力
会長 市川 勇

会員数

男21・女13
男14・女12
男13・女19
男11・女31
男33・女22
男16・女4
計34名
計26名
計32名
計42名
計55名
計20名

芦子地区は、小田原駅西口広場から城山陸上競技場下、関東学院大学、芦子小学校と回って市役所、警察署そして元少年院までと多様な施設のある地域です。この地域に6単位老人クラブで活動しております。

昨年来よりのコロナ禍で、各単位クラブの多くの活動が縮小や中止となりましたので今回は谷津地区について紹介をいたします。

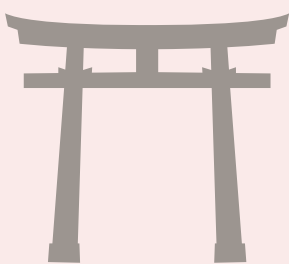
谷津の地名は古く、後北条時代は城下町の一面としての谷津村が存在し、大外郭の空堀が村境だと言われています。またこの小高い丘と谷の村に、17寺、2神社があつて殆どを寺地が占めていたそうです。

駅西口から一つの丘を越えた上谷津は、元競馬場と呼ばれ大正時代から昭和初期には大層な賑わいだったそうです。今は大部分が住宅地となっており高台からは海、山が美しく望めます。中谷津には駅裏に愛宕神社と摩利支天社があつた愛宕山がありま

す。駅近くとこのことで大型マンションも数棟あり他から転入された多くの方も地域活動に参加しております。

下谷津に谷津の氏神様である大稻荷神社があり、かつては駅から神社まで種々の商店が並び、谷津の買い物地区だったそうです。入谷津は駅から西へ進んだ地区で江戸時代前期には、12軒ほどの武家屋敷があつたようです。又、多くの寺もこの地域に残し北条氏のお姫様も住んでいた、谷津の歴史が感じられる地域です。

尚、谷津の住居表示名は現在一部を残すのみで大部分が城山となっております。



富士見地区

(連合会長 早野 成二)

総会員数
108

南鴨宮第一長寿会 会長 早野 成二
南鴨宮第三長寿会 会長 香坂 功喜

会員数

男27・女23 計50名
男30・女28 計58名

富士見地区は東海道線鴨宮駅の南側、東は酒匂地区に接し、西は酒匂川に囲まれたところです。少し前に下府中地区より分割した市老連では最も新参の地区であります。

二つの単位クラブがあり、今回は南鴨宮第一長寿会の行事「下菊川こいのぼり」を紹介いたします。昨年は、鯉のぼりを揚げて10年目の記念すべき年でありましたが、新型コロナウイルス緊急事態宣言に接し震えあがり断腸の思いで中止となりました。

今年こそは、地域の子どもたちの健やかな成長を祈り、またコロナ禍で息詰まる思いの子どもたちに良い思い出づくりのために会員一同「ヤッターゼー」と開催を決意



し、実行することができました。

今年の開催期間は、4月29日より5月6日までの8日間でした。

鯉のぼりの掲揚内容としては、富士見と酒匂地区の境を流れる川幅約12mの清流「下菊川」の両側に支柱を建てその間に綱を張り

ます。一張りのセットは、吹き流し、真鯉、緋鯉、子鯉とします。大道西橋より下新田橋間約380mに二十九張りを渡します。吹き流しを含め約140匹を掲揚しました。

会員の作業内容は、①公園での事前点検②両岸に支柱建て③綱渡し④期間中の絡み直し⑤撤収、等いずれの作業も午前中のみです。期間前半の5月1日の夜、台風並みの強風に遭遇、行方不明・大破破損した鯉達数知れず修復に大変難儀しました。結局作業日数7日、延べ参加人員120名余りの皆様にご協力いただきました。コロナ禍で従来の飲食はできなかったものの久々に顔を合わせ、共同作業を行うことでコミュニケーションが図られ、運動不足解消にも役立ったと思います。疲れもなかなかでした。無事終了でき感謝感謝です。

私どもの会も年々齢を重ね、口は達者でも動きは劣り、いつまで鯉のぼりを揚げられるか心配で



すが、個々の力は衰えてもベクトルを合わせれば大きな成果を得られることを実感しました。今後とも力を合わせ下菊川に鯉を泳がせたいと思います。

最後にご支援いただきました関係各種団体様にお礼申し上げます。

「なにより、見物頂きました多くの幼児・児童・子どもたちにありがとうございました!!」

(文・早野 成二)

この谷津地区に昭和31年、管理人が住み込む当時としては大型な谷津公民館が完成しました。また自治会活動も昭和33年に、上下入の4地区が纏まって谷津自治会として発足しましたが、その後また各自治会に分かれて平成11年に谷津自治会連絡協議会として現在に至っています。

老人会もまたそれぞれの谷津第一、四喜楽会の連合体として活動していましたが昭和39年8月、谷津上・中・下・入喜楽会として設立され市老連に登録いたしました。

このような経緯により谷津地区の老人会は現在でも敬老祝賀会や夏祭り等、大きな行事は他の多くの団体と4地区喜楽会との合同で開催しております。なかでも昭和年代より喜楽会と婦人会が始めた駅西口清掃・花



壇管理活動は、平成29年小田原市と神奈川県より再度表彰を受けております。

芦子地区6単位クラブは、今後も定期的な情報交換により、自治会を始めとした関連団体と協調して会員相互の触れ合いを大切にした地域活動に励んでまいります。

(文・磯崎 透)



桜井地区

(連合会長 片山 勝)

総会員数
330

桜井地区第一クラブ	会長 片山 勝
桜井地区第二クラブ	会長 曾我 常夫
桜井地区第三クラブ	会長 曾我 節夫
曾比和楽会	会長 片山 四郎
西栢山喜楽会	会長 奥津 裕
招寿会	会長 青木 富雄
学校前友愛会	会長 杉山 厚子
城北健寿会	会長 八尋 国昭

会員数

男 19・女 31	計 50 名
男 9・女 22	計 31 名
男 17・女 16	計 33 名
男 14・女 24	計 38 名
男 16・女 30	計 46 名
男 7・女 23	計 30 名
男 20・女 22	計 42 名
男 31・女 29	計 60 名

「桜井小学校 4 年生と一緒に考え学ぶ」
で活動報告いたします。
令和 3 年 3 月 9 日(火)、桜井小学校室内
運動場において「皆さんは富士山につい
てどのように思っていますか？」という講
演を行いました。



「今年の富士山は雪が少ないことに気
になつていませんか、富士山は 313 年
ぶりに大噴火を起こす準備に入ってい
ます。いまから 300 年前の江戸時代、
1707 年大噴火を起こしました。」
「宝永の大噴火」と呼ばれるこの噴火
は、16 日間も断続的に続き火山灰の噴
火物が横浜・江戸から房総半島まで降
り積もつて、当時の人々に大きな被害を
もたらした。それ以来、なりをひそめて
いた富士山の地下でまた地震がおき始
めた。

300 年もの間、静寂を保っていた富
士山が噴火したら、今の高度化した社会
では、江戸時代のそれ以上になると予想
される。そこで国と自治体によって「富
士山火山防災協議会」が設置され検討
委員会により「富士山火山防災マップ」
として具体的な指針が示された。ところ
が 2011 年東日本大震災の発生によ
り状況は一変した。「3・11」と呼ばれる
が、その 4 日後に富士山で震度 6 強の直
下型地震が起き、火山学者の肝を冷やし
た。もはや富士山は何時噴火してもおか
しくない「スタンバイ状態」に入つたと
考えられる。皆さんも家族と話し合い、
今から準備しておいてもいいかも……。



一緒に考え学んだ後、4 年生から、講演
をした私(曾我)に感想文が寄せられ、そ
の内容は次の通りでした。

＊ しらない事もたくさんあつてばんきよ
うになりました。

＊ お話をしてくれてありがとうござい
ました。説明がわかりやすかった。

＊ 「コロナ」のなか、きてくださり VTR
をみて災害のことを知りました。

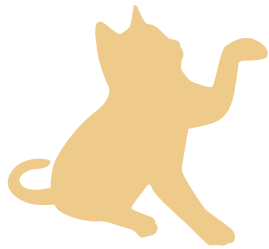
＊ 富士山の宝永火山は半月も続いたなん
ておどろきました。

＊ ふん火があつたことがわかりました。
ふん火にならないことをねがいます。

桜井小学校 4 年生全 76 名、防災につい
てよくわかりました。

(文・曾我 常夫)

私たちは小田原市老人クラブ連合会の活動を応援しています



私は毎日(雨天を除く) 朝夕食をねだる一匹の野良(猫♀)です

会員投稿

幸地区 小峰会 朝見 健夫

私が5月のある日の朝、庭を歩いていたところ部屋の障子が開いていて、じいと孫娘が朝食を摂っているのがみえたので、部屋に近づいたところ丁度いい腰かけが置いてあったので、それに座り中をじっとみていたら、じいが気づき、何か食べ物らしい物を持ってきてこまくしてまきました。

何をまいたのか近づいてみるとクッキーをこまくしたもので、朝、何も食べてなかったの思わずすべて食べてしまいじっと座っていたら、まだ、食べるのかと思ったのか、再度、クッキーをまきました。

この時、私は食べながら考えました。

これからは毎朝同じ時間帯に來れば食べ物にありつけるのでは、うまくいけば夕方も同様に食べれるかもしれないと。

思った通り私を見つければ食べ物をくれる様になり、いまではキャットフードとチュールに変わり、毎朝夕楽しく食べています。

これからも、じいを忖度して楽しく朝夕食を食べていけるよう頑張ります。

「第27区グラウンドゴルフ同好会」の活動について

会員投稿

幸地区 小峰会 朝見 健夫

「第27区グラウンドゴルフ同好会」は第27区老人会(小峰会・二の丸会)が主体となり、高齢者を中心に年齢には拘らず地域住民の健康維持・交流・親睦等を図ることを目的に平成28年6月30日に設立されました。

設立にあたり一番苦労したのがプレーするためのグラウンドを見つけることでした。

27区地域内を何か所か物色したが「帯に短し襷に長し」で、コースが取れない状態で一時は設立を諦めようと思った時期もありましたが、最後の望みをかけて平成28年11月10日、地域内にある国際医療福祉大学小田原保健医療学部と面談しグラウンドゴルフ設立の主旨を説明したところ大学より「話はよくわかりました。大学は日曜日は完全閉鎖となるので使用できない、平日なら本部(新幹線ガード脇)に持って帰り検討する。その結果を連絡するので待つてほしい」とのことであった。

平成28年12月2日、大学より呼び出しがあり協議の結果、グラウンド使用の許可を得ること

ができ、ここに来て名実ともに「グラウンドゴルフ同好会」のスタートとなりました。実に半年かかったのスタートになってしまいました。



会員も設立当時から多少は減ったものの16名程度が残っており、プレーするには丁度いいのかなと感じております。

プレー出来るまでの半年間、会員には月一回ぐらい集ってもらいルールの説明等をしてきたつもりですが、いざプレーに入るとボールを打つことに夢中でルールもへったくれもない状態で、同伴競技者への思いやりも見られないようなことも見られ、この先が思いやられると感じたこともありました。

しかしながら、現在は市体育振興会・西湘ブロック・創友会等主催の大会には堂々と出場していくまでになりました。

今年6月からは二代目会長である安藤新会長のもと、大学・自治会・関係部署の協力をえて、他地域のチームと交流を図り一段の技術向上、仲間の輪を広げ一層楽しくプレーしていくことに努力するとともに、プレーを通じて元気で楽しく健康な生活を送っていけるよう活動していく所存です。



私たちは小田原市老人クラブ連合会の活動を応援しています

市老連主要行事報告

(令和2年10月～令和3年3月分)

月	日	事業(会議)名	内 容	場 所
10	7	常任理事会 理事会	・ 県老連新年賀詞交換会について ・ 春季研修旅行について ・ 令和 2 年度小田原市老人クラブ連合会大会 表彰者について ・ 第55回小田原市老人クラブ連合会大会について ・ 寝たきり会員の調査依頼と見舞い品について ・ 福祉友愛募金集計報告 他	おだわら総合医療福祉会館
	10	慰霊塔清掃	万年・片浦・芦子	市慰霊塔
	22	財務部会	上半期予算執行状況確認	おだわら総合医療福祉会館
11	5	中間監査 常任理事会 理事会	・ 中間監査報告について ・ 小田原創友クラブ「女性部の集い」について ・ 友愛チームリーダー研修会について ・ 令和3年度スポーツ施設使用日程について 他	おだわら総合医療福祉会館
	9	慰霊塔清掃	桜井・足柄・幸	市慰霊塔
		西湘ブロック交流 小田原創友クラブ グラウンドゴルフ大会	・ 大会準備	酒匂川スポーツ広場
	10		・ 大会開催	
	25	老人大学 (第1回)	・ 講話「高齢者向け防災対策」 講師：小田原市防災対策課 防災士：下澤 巧 様	おだわら総合医療福祉会館
12	9	常任理事会 理事会	・ 友愛チームリーダー研修会について ・ 単位クラブ加入促進運動について ・ 単位クラブ会長研修会について ・ 春季研修旅行について 他	おだわら総合医療福祉会館
	10	慰霊塔清掃	大窪・国府津	市慰霊塔
1	8	教養部会	創友クラブだより 第76号について	おだわら総合医療福祉会館
2	18	常任理事会	・ 3月事業について	
3	8	常任理事会 理事会	・ 令和3年度小田原市単位クラブ補助金にかかわる説明 ・ 令和3年度友愛チーム関係書類について ・ 令和3年度会員加入促進運動について 他	おだわら総合医療福祉会館
	10	慰霊塔清掃	早川・下府中・緑・富士見	市慰霊塔
	22	友愛チーム リーダー研修会	・ 新型コロナウイルス感染症と予防について 講師：小田原市健康づくり課 保健師 増田 真美子氏 ・ 基調講演「友愛チームの活動について」 講師：（公財）神奈川県老人クラブ連合会 ゆめクラブ神奈川活動推進員 松田 冴子氏	おだわら総合医療福祉会館
	25	友愛活動支援事業 女性部のつどい	・ 講話「コグニサイズで認知症にそなえる」 講師：（公財）神奈川県老人クラブ連合会 ゆめクラブ神奈川活動推進員 松田 冴子氏	おだわら総合医療福祉会館

私たちは小田原市老人クラブ連合会の活動を応援しています

--	--	--	--



短歌

酒匂地区 大道敬和会 小寺 光男

浴室に介護の女の匂い立つ

デイサービスの朝のひととき

妻逝きて五年お山は豊作に

梅のもぎ穫り今盛りなり

ゆらゆらと盤越西線坂下る

ああなつかしの会津盆地よ

川柳

酒匂地区 大道敬和会 小寺 光男

すれ違う介護の女は急ぎ足

茅の原今はビル街曾我光海

十字地区 西海子クラブ 生田目茂子

《コロナ禍》

化粧品少しもへらず夏が逝く

皆怪しバニクにマスクサングラス



俳句

酒匂地区 第一寿栄広会 大木 敬子

(春)

饅頭を夫と分け合ふ梅見かな

(夏)

雨止んで蟬穴八つかたまつて

十字地区 西海子クラブ 生田目茂子

夏 早雲の馬上にひびく夏の雷

冬 着ぶくれて五臓ほどける屋台そば

酒匂地区 大道敬和会 小寺 光男

満開の花かき分けて電車往く(山北にて)

パソコンも遠くなりけり九十歳

亡母の背にわれさも似たり九十歳

蛇踏んで亡妻の驚き宙を飛ぶ

会員募集中!!

60歳をすぎたら

シルバー人材センターへ

健康で、働く意欲のある高齢者の就業をサポートする公益社団法人です。

民間企業・家庭・公共機関などから仕事を引き受け、会員に提供します。毎月第3火曜日に説明会を行っています。



連絡先 生きがいふれあいセンターいそしぎ内

☎0465(49)2333 【永井・山田・朝倉】

興味のある方は

小田原市シルバー人材センター

検索

原稿募集

「小田原創友クラブ」78号(令和4年冬号)に原稿をお寄せください。単位クラブ活動や仲間同士でのボランティア活動、特別な行事や地域の奇祭などに参加している様子を投稿ください。(活動している様子、行事の様子など写真を添付してください)

日々の雑感(随想)、旅行記、俳句、短歌、川柳などお寄せください。

●紙面の都合で長文の場合は文章をカットまたは次号回しにする場合があります。

●二重投稿、発表済のものは受け付けません。

●必ず氏名・地区名・クラブ名・電話番号を明記ください。

発行 令和4年1月

締切日 令和3年10月末日

宛先 〒250-0055

小田原市久野115-2 おだわら総合医療福祉会館内
小田原市老人クラブ連合会 「小田原創友クラブ」教養部

私たちは小田原市老人クラブ連合会の活動を応援しています



「百歳長寿」おめでとうございます！

会員で令和3年1月～7月までに100歳を迎えられた方は次の通りです。
市老連よりお祝金を進呈致しました。

該当月	地区名	クラブ名	氏 名	生年月日
2月	曽我	上曽我千歳会	市川登志子様	大正10年2月4日
	富水	飯田岡第一寿会	吉澤千代子様	大正10年2月7日
	新玉	新宿ことぶき会	柳下 三郎様	大正10年2月21日
	幸	茶組会	杉崎マリ子様	大正10年2月26日
3月	芦子	上谷津喜楽会	伊藤 康夫様	大正10年3月15日
6月	緑	緑寿会	梅津 忠雄様	大正10年6月2日
	芦子	下谷津喜楽会	佐久間裕司様	大正10年6月17日

あとかき

新型コロナウイルス感染症について、いまだ終息しておりません。今年度も市老連の事業計画に延期や中止が考えられます。「緊急事態宣言」や「まん延防止等重点措置」で私たちの生活に影響を及ぼすことは、ご承知の通りです。

感染防止対策の切り札として、コロナウイルスワクチンの接種が非常に有効と思います。

ワクチンの有効性に期待し、感染症の流行を抑えることが重要と考えます。皆さん、ワクチンの接種はお済みですか。今年度、市老連の事業計画がスムーズに遂行できることを望みます。

(教養部)

会員加入増強運動

実施中です

小田原創友クラブの推進項目として

- ① 未加入者宅にパンフレットの投函。
- ② 会員1人が新しい会員1名以上の勧誘をする。
- ③ 未加入自治会の創友クラブの結成をはかる。
- ④ 単位クラブ2名以上の増員が最低目標。

ご協賛いただいた皆様への御礼

このたびは、広報紙に広告のご協賛をいただき、誠にありがとうございます。本紙は紙面を通して会員の交流・情報交換はもとより、地域の皆様に老人クラブの活動をご理解いただき、一層の交流の輪を広げるため発行するものでございます。以上の趣旨をご理解いただき、引き続き広告掲載のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

【小田原市老人クラブ連合会】

私たちは小田原市老人クラブ連合会の活動を応援しています
